

Sun StorageTek™ 2500 シリーズ ストレージアレイご使用の手引き

このマニュアルでは、Sun StorageTek 2500 シリーズストレージアレイの設置手順の概要について説明します。詳細については、このマニュアルの手順を通して使用可能な『Sun StorageTek 2500 シリーズアレイハードウェア設置マニュアル』を参照してください。そのほかのマニュアルは「[本製品に関するドキュメント](#)」に一覧表示されています。これらは Sun のドキュメント Web サイトから入手できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/st2500.array~st2500arrays#hic>

Sun StorageTek Common Array Manager

Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアは、Sun StorageTek 2500 シリーズアレイハードウェアの初期構成と運用を行う重要なコンポーネントです。これは、帯域外の Ethernet 経由でアレイに接続された管理ホスト上にインストールされます (この接続には付属のケーブルを使用)。一般的な概要および詳細な技術情報については、次の場所を参照してください。

http://www.sun.com/storagetek/management_software/resource_management/cam

「Get It」タブをクリックすると、最新の情報と使用可能なバージョンを入手できます。**注:** ハードウェアの設置完了後すぐにソフトウェアをインストールできるように、先にダウンロードしておくことをお勧めします。

準備

インストールを開始する前に、次のマニュアルの説明を確認してください。

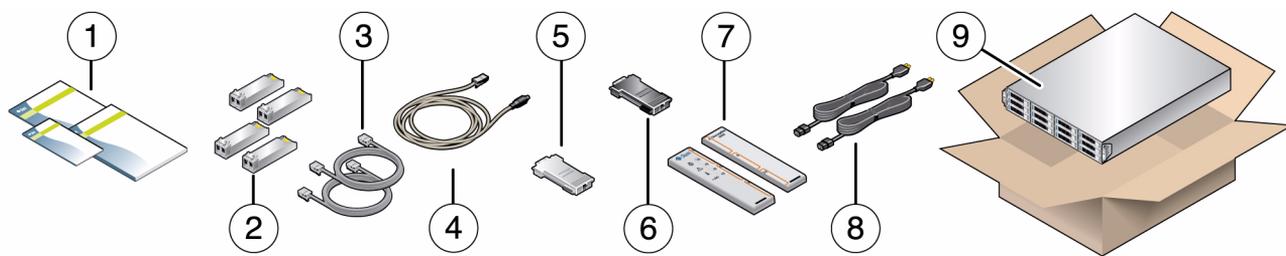
-
- 『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』
 - 『Sun StorageTek 2500 シリーズアレイご使用にあたって』
 - 『Sun StorageTek 2500 Series Array Regulatory & Safety Manual』
 - 『Sun StorageTek 2500 シリーズアレイサイト計画の手引き』
-

出荷キットの内容確認

図 1 に、Sun StorageTek 2540 アレイ、Sun StorageTek 2530 アレイ、および Sun StorageTek 2510 アレイ用のコントローラトレイ出荷キットの内容を示します。次のことを確認してください。

- AC 電源ケーブルは別途出荷されます。
- SFP (Small Form-factor Pluggable) は Sun StorageTek 2540 アレイにのみ付属しています。
- コントローラトレイをデータホストに接続するケーブル SAS (Serial Attached SCSI)、FC (Fibre Channel) 光ファイバ、および Ethernet など含まれていません。別途購入する必要があります。Sun StorageTek 2501 拡張トレイ出荷キットには、内部トレイのケーブル接続用 SAS ケーブルが含まれています。

図 1 コントローラトレイ出荷キットの内容

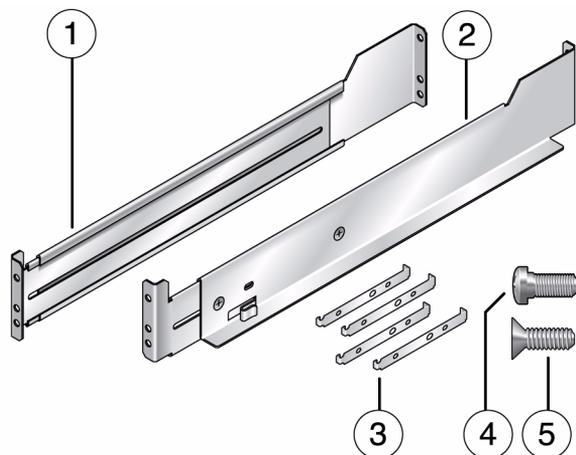


図中番号	説明	図中番号	説明
1	マニュアル	6	RJ45 - DB9 マルモデムアダプタ
2	ファイバチャネル SFP 4 つ (2540 のみ)	7	ベゼルエンドキャップ
3	RJ45 - RJ45 Ethernet ケーブル (1 コントローラモジュールあたり 1 本)	8	電源ケーブル (AC ケーブルは別途出荷。DC 構成の場合は DC ケーブルが付属)
4	RJ45 - mini-DIN ケーブル	9	コントローラトレイ
5	RJ45 - DB9 アダプタ		

キャビネットの設置とレールキットの準備

レールキットを設置する前に、キャビネットのインストール手順の説明に従ってキャビネットを設置し、安定させます。キャビネットにキャスターが付いている場合は、キャビネットが動かないようにキャスターがロックされていることを確認し、正面パネルと背面通気パネルを取り外すか開きます。出荷キットの内容を確認します (図 2)。

図 2 レールキットの内容

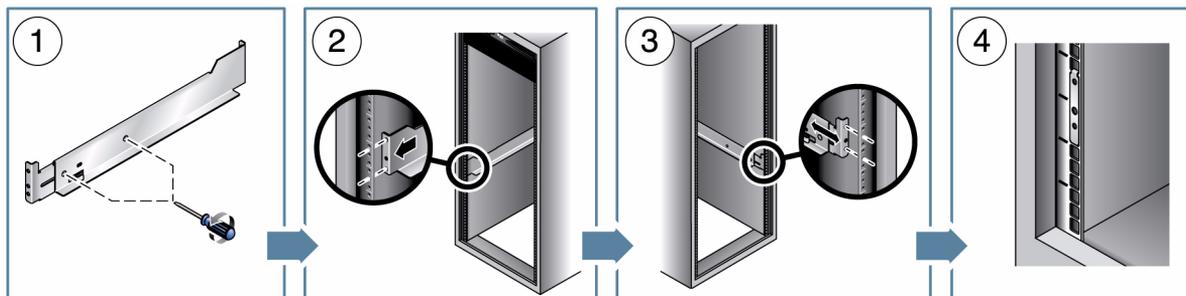


図中番号	説明
1	左側レール構成部品
2	右側レール構成部品
3	ねじ山のないキャビネットレールアダプタプレート 4 つ
4	10-32 ねじ 10 本
5	M4 ねじ 4 本

キャビネットへのレールキットの設置

次に、レールキットの設置手順の概要を示します。キャビネットのタイプに応じた詳細な設置手順については、設置マニュアルを参照してください。注: 各トレイには、キャビネットに標準取り付けラックユニット 2 つ (2RU) 分の縦スペースが必要です。

図 3 レールキットの設置



手順 / 図中番号	作業
1	レールをゆるめてレールの長さを調整します。
2	レールの前方をキャビネットレールの正面に合わせて固定します。
3	レールの後方をキャビネットレールの背面に合わせて固定します。
4	キャビネットレールアダプタプレートを使用して、ねじ山のない穴のキャビネットレールを取り付けます。

キャビネットへのトレイの設置と電源ケーブルの接続

コントローラトレイは、キャビネットの下から最初の空の 2RU スロットに設置します。拡張トレイを設置する場合は、コントローラトレイの設置に続いて下から順に設置します。詳細については、設置ガイドを参照してください。

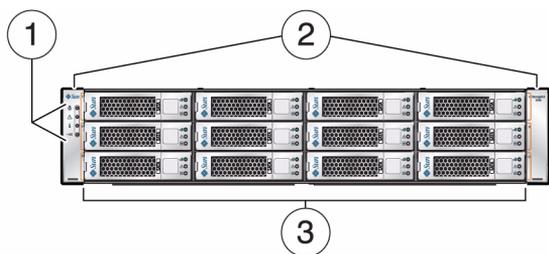
図 4 トレイの設置



手順	作業
1	2人でトレイを慎重に持ち上げ、左右のレールの下側の棚部分に載せます。トレイ装置の重量は最大で 24.6 kg (95 ポンド) あります。
2	トレイの正面の縁がキャビネットの縦の面に当たるまで、トレイをキャビネットに慎重に押し込みます。
3	正面の縁の中央の穴に 8-32 なべ頭ねじを 1 本ずつ挿入し、締めます。
4	アレイトレイの正面の縁をカバーするエンドキャップ (ベゼル) を戻します。
5	コントローラの電源スイッチとキャビネットの回路遮断器がオフになっていることを確認します。トレイの各電源を、キャビネットの別々の電源に接続します。

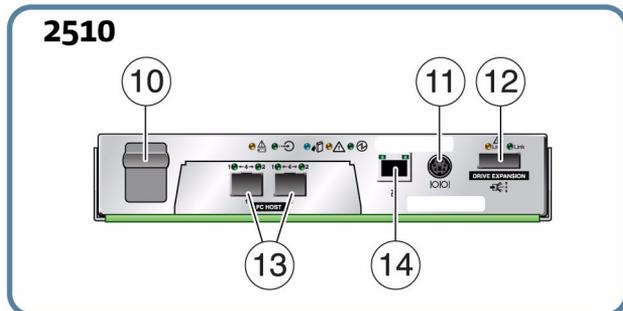
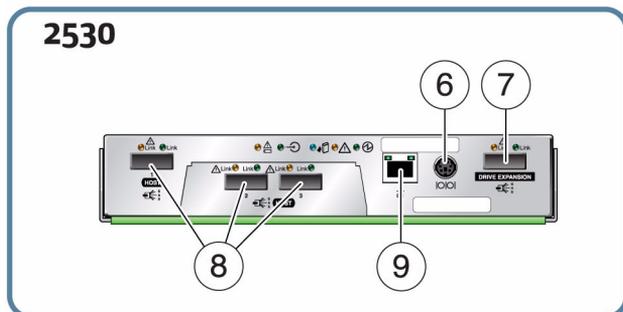
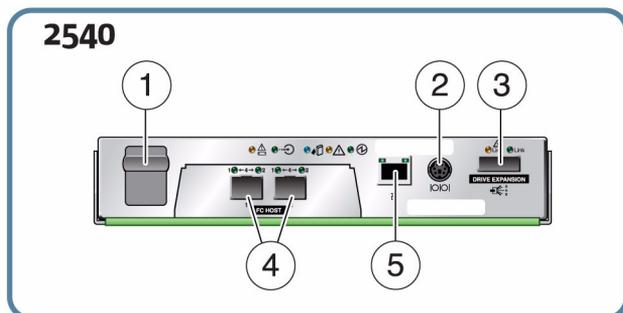
コントローラトレイの正面パネルと背面パネルの確認

図 5 コントローラトレイの正面パネル



図中番号	説明
1	トレイ LED
2	エンドキャップ
3	ディスクドライブ

図 6 コントローラトレイの背面パネル

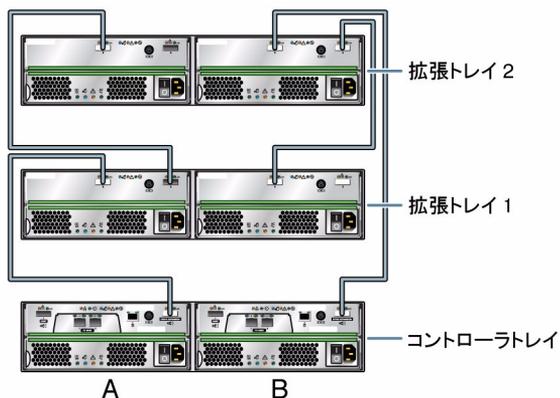


図中番号	説明
1	(未使用)
2	RS-232 コネクタ (診断ポート)
3	ドライブ拡張トレイ用コネクタ (SAS 出力)
4	ファイバチャネルのデータホスト用コネクタまたは銅ケーブルのデータホスト用コネクタ
5	管理ホスト用 Ethernet コネクタ
6	RS-232 コネクタ (診断ポート)
7	ドライブ拡張トレイ用コネクタ (SAS 出力)
8	データホスト用 SAS コネクタ
9	管理ホスト用 Ethernet コネクタ
10	(未使用)
11	RS-232 コネクタ (診断ポート)
12	ドライブ拡張トレイ用コネクタ (SAS 出力)
13	データホスト用 Ethernet コネクタ
14	管理ホスト用 Ethernet コネクタ

コントローラおよび拡張トレイの接続

次の手順では、冗長性を最高にするための、拡張トレイ 2 台と二重化コントローラトレイの一般的なケーブル接続構成を示します。その他の構成については、設置マニュアルを参照してください。

図 7 一般的な拡張トレイのケーブル接続構成

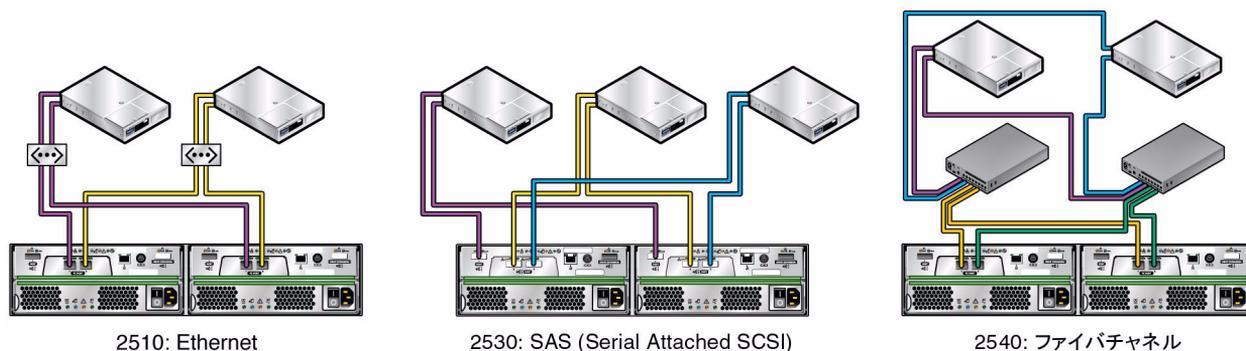


手順	作業
1	コントローラ A の拡張出力ポートと、拡張トレイ 1 の A 側の拡張入力ポートを SAS ケーブルで接続します。
2	コントローラ B の拡張出力ポートと、拡張トレイ 2 の B 側の拡張入力ポートを SAS ケーブルで接続します。
3	拡張トレイ 1 の A 側の出力ポートと、拡張トレイ 2 の A 側の入力ポートを SAS ケーブルで接続します。
4	拡張トレイ 2 の B 側の出力ポートと、拡張トレイ 1 の B 側の入力ポートを SAS ケーブルで接続します。

管理ホストとデータホストの接続

次の手順では、一般的な管理ホストとデータホストの接続を示します。その他の構成については、設置マニュアルを参照してください。注: Sun StorageTek 2500 シリーズのアレイの 3 つのモデルでは、直接接続がサポートされています。

図 8 コントローラとデータホストの接続例



手順	作業
1	Ethernet ケーブルを、各コントローラの管理ホストのポートから管理ホストの LAN に接続します。
2	<ul style="list-style-type: none"> 2510 の場合は、Ethernet ケーブルをコントローラホストのポートから Ethernet スイッチまたはルータに接続します。 2530 の場合は、SAS ケーブルをコントローラホストのポートからデータホストの HBA ポートに接続します (直接接続のみ)。 2540 の場合は、SFP をコントローラホストのポートに差し込みます。光ファイバケーブルをコントローラホストのポートからファイバチャネルスイッチのポートに接続します。
3	各コントローラで、手順 2 を繰り返し、ほかのデータホストを接続します。

電源の投入とホスト管理ソフトウェアのインストール

アレイに電源を投入するには、設置マニュアルの手順に従います。ダウンロードしたパッケージから、管理ホストに Sun StorageTek Common Array Manager をインストールします。注: ダウンロード手順をまだ行っていない場合は、「[Sun StorageTek Common Array Manager](#)」を参照してください。

アレイの初期登録中に、ASR (Auto Service Request) サービスに登録するよう求められます。Sun Service による適切な対応を受けるため、ASR に登録することをお勧めします。

本製品に関するドキュメント

- Sun StorageTek 2500 シリーズアレイに関するそのほかのドキュメントは、次の場所から入手できます。
<http://docs.sun.com/app/docs/prod/st2500.array~st2500arrays#hic>
- Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアに関するドキュメントは、次の場所から入手できます。
<http://docs.sun.com/app/docs/prod/stor.arrmgr#hic>

安全性に関する情報の確認	Sun StorageTek 2500 Series Array Regulatory & Safety Manual Important Safety Information for Sun Hardware Systems
既知の問題点と回避策の確認	Sun StorageTek 2500 シリーズアレイご使用にあたって Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアリリースノート
サイトの準備	Sun StorageTek 2500 シリーズアレイサイト計画の手引き
アレイの設置	Sun StorageTek 2500 シリーズアレイハードウェア設置マニュアル
管理ソフトウェアのインストール	Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアインストールマニュアル
アレイの管理	Sun StorageTek Common Array Manager オンラインヘルプ (ソフトウェアに組み込み済み) Sun StorageTek Common Array Manager CLI Guide

お問い合わせ先

技術サポート	http://www.sun.com/service/contacting
このマニュアルに関するコメントの送信	http://docs.sun.com の Feedback[+] をクリック
パッチおよびファームウェアの更新	http://www.sun.com/support/index.jsp

Copyright 2009 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Copyright 2009 Sun Microsystems, Inc. Tous droits réservés.



Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 821-0114-10, Rev. A
2009年6月